

# おちいし<sup>としのり</sup>俊則



事務所 〒811-0204 福岡市東区奈多1丁目10-12

TEL606-4541

FAX 606-6878

E-mail: info@ochiishi.jp

## 待機児童解消に向けて！

### 9月議会 本年度一般会計補正予算案 可決成立

福岡市議会（9月定例会）は16日に最終本会議を開き、保育所の定員を670人分増やすための整備費助成等、約28億4200万円の一般会計補正予算案を含めた14議案を可決し閉会しました。



保育所の追加整備の背景には、待機児童数（7/1現在）が874人で、増加人数に当初の計画が追いついていないことにあります。

市は新たに保育所の新築（4～5所）、増改築（4～5所）を実施するとしています。また「自然エネルギーの本格的導入を求める意見書案」「漁船用軽油に係る軽油引取税の免除を求める意見書案」等6件の意見書が可決されました。

## ----- 新「東市民センター」2016年開館へ -----

かねてより、早期開館の要望が強かった新・東市民センターの概要が第一委員会で明らかになりました。移転先はJR・西鉄千早駅前（国道3号線側）です。

香椎副都心公共施設については、東部副都心のまちづくりとしての「にぎわいの創出」、隣接する並木広場の活用としての「くつろぎの演出」、コミュニティの拠点としての「つどいの

支援」の基本的視点で検討されてきていました。

### 《センターの概要》

- 客席800席のホール
- 図書館と音楽・演劇練習場
- 駐車場（300台）
- 市民サービス向上を図るため諸証明発行窓口の設置（東区役所機能一部移転）

## ～市政・法律無料相談を行っています。～

- 毎月 第4木曜日
- 場所 落石俊則事務所
- 弁護士 津留雅昭
- 市議会議員 落石俊則

10月は27日（木）18:00～  
\*どなたでも、お気軽にご相談ください。秘密厳守です。事前にお電話でご予約ください。  
◎教育・くらしの相談は随時おこなっています。

## エネルギーも地産地消へ 新エネルギー拡充に期待！

市は環境局内に「エネルギー政策担当部」を設置し、地域でエネルギーを自給自足できる、いわゆる地域分散型の再生可能なエネルギーの活用を促進するための施策の充実・強化を図ることを発表しました。

本市は、省エネ、地球温暖化対策の一環として35年前から市内の清掃工場でゴミを燃やした時に

出る熱・蒸気を利用し電気をつくってきています。

再生可能なエネルギーは、発電量の不安定さや初期投資等の課題があり、今すぐに、原子力発電にとって代わるエネルギーにはなりません。再生可能エネルギー特別措置法が成立した今、「脱原発」の道筋をつけていかなければならないと考えます。

## 再生可能エネルギー施設を視察（8/25）

### クリーンパーク・臨海清掃工場（東区箱崎ふ頭）

焼却時に発生する焼却炉の余熱を利用してつくった蒸気で発電。その発電量は 25,000KW、13000 世帯分の電力を発電しています。東部、南部、西部清掃工場を合わせると一般家庭約 6 万軒の年間使用電気量に匹敵します。



福岡市環境局ホームページより



環境局からの説明を受ける。

### 風レンズ風車（東区香椎パークポート「100年公園」）

発電した電気は公園内のトイレ照明等の電源の一部となっています。低騒音構造で弱い風でも高出力の発電が可能だが、洋上では台風対策や漁業権との調整が課題です。

この日は博多湾からの風が強く勢いよく回っていました。この風レンズ風車は、シーサードもち公園（早良区）や九州大学伊都キャンパス（西区）にも設置されており、この秋には九州大学研究チームによる実証実験が博多湾（西戸崎沖）で始まります。

### 太陽光発電システム

学校や公民館、区役所、博物館等の公共施設 119 か所に設置されています。1施設の発電能力は、10KWがほとんどで、年間の発電量は1万KWh（一般家庭の約3軒が1年間に使用する電気量とほぼ同じ）。発電された電気は各施設内で利用しています。小学校では環境教育にも活用されています。



和白東小学校の屋上に設置されている太陽光パネル

◎これらの施設のほか、和白、西戸崎、東部、中部、西部水処理センターではバイオマス発電・熱利用を行っています。また、東消防署には太陽熱温水器が設置され一日中晴天であれば1200ℓの温水を作ることができます。